

日時：平成23年12月19日（月）13:30～

場所：宇宙科学研究所新A棟二階会議室

## 第34回宇宙理学委員会議事次第

所長挨拶

- |   |               |
|---|---------------|
| 1.宇宙科学に関連する最近の動き                        | 資料1-1, 2      |
| 2.第33回宇宙理学委員会議事録（案）について                 | 資料2           |
| 3.諸報告                                   |               |
| (1) 第28回宇宙工学委員会報告                       | 資料3-1         |
| (2) あかり運用終了報告                           | —             |
| (3) はやぶさ2TF中間報告                         | 資料3-3-1, 2    |
| (4) はやぶさサンプル分析国際A0について                  | —             |
| (5) 小型科学衛星専門委員会報告                       | 資料3-5         |
| (6) 宇宙科学国際調整報告                          |               |
| 4.議事                                    |               |
| (1) 宇宙理学班員登録申請について                      | 資料4-1         |
| (2) SPICAリスク低減作業について                    | 資料4-2-1, 2, 3 |
| (3) かぐや終了審査報告                           | 資料4-3         |
| (4) Geotail運用延長審査委員会報告                  | 資料4-4-1, 2, 3 |
| (5) Athena審査委員会報告                       | 資料4-5-1-4     |
| (6) MAXI科学評価委員会報告                       | 資料4-6-1, 2    |
| (7) 宇宙科学プログラムについての集中審議<br>趣旨説明          |               |
| 第1部 今後の宇宙科学プログラムについて                    | 資料4-7-1       |
| 第2部 今後約20年間におけるミッション構想案                 |               |
| (1) X・ガンマ線天文                            | 資料4-7-2-1     |
| (2) 光赤外天文                               | 資料4-7-2-2     |
| (3) 電波天文                                | 資料4-7-2-3     |
| (4) 太陽物理                                | 資料4-7-2-4     |
| (5) 磁気圏物理                               | 資料4-7-2-5     |
| (6) 月・惑星・小惑星探査                          | 資料4-7-2-6     |
| (7) 基礎物理（重力波・宇宙論実験・素粒子実験・宇宙線実験）         | 資料4-7-2-7     |
| (8) 工学                                  | 資料4-7-2-8     |
| (9) 各分野のミッション構想案から読みとる大型・中型・小型の必要打ち上げ頻度 | 資料4-7-2-9     |
| (8) 日本学術会議の活動と宇宙科学プログラムについて             |               |
| (1) 天文・宇宙物理分野                           | 資料4-8-1       |
| (2) 月惑星分野、大型計画                          | 資料4-8-2       |
| (9) 議論（今後の宇宙科学プログラムについて）                |               |
| (1) 海外ミッションへの参加協力について                   | 資料4-9-1       |
| 大型・中型・小型の頻度はどうあるべきか？                    |               |
| 新たな海外ミッションとの協力について                      |               |
| (10) 火星大気散逸探査ミッションWG設立について              | 資料4-10-1, 2   |

以上